

Zoom Up

人

スキージャンプの魅力は空を飛んでるときの気持ちよさほんとは最高なんですよ



永井 健弘 さん

●ながい・たけひろ 田山中学校から北海道・下川商業高校に進み、現在は日本体育大学4年生。ノルディック複合競技の選手として全国大会で入賞するなど活躍している。体を動かすことが好きで、スキーのほかにも水泳や野球、サッカーなどを楽しむスポーツマン。「単純で乗せられやすい性格」と自己分析する22歳。血液型A型のさそり座。石名坂下夕出身。



キ

キング・オブ・スキー。ヨーロッパではノルディック複合競技の王者をこう呼ぶ。スキージャンプとクロスカントリースキーの2種目を組み合わせて行われるこの競技は、持久力や瞬発力など総合的な運動能力が求められる。

永井健弘さんは、小学生のころからノルディック複合競技に取り組み、ことし世界の舞台に飛び出す。

2人の兄の影響で、当然のようにスキーを始めた永井さんは、小学校4年生のときにアルペンスキーで初めてスキージャンプを体験。5年生になるとジャンプスキーでのジャンプに本格的に取り組みようになる。初めは、ジャンプスキーの重さに戸惑いながらのジャンプだったが、次第に空を飛ぶ気持ち良さに魅了されていった。「いまだにジャンプは怖

いと感じる時があるんですけど」と語る永井さんだが、その恐怖心を乗り越え、飛んだ後の気分は最高なのだという。

大学4年生となり、スキー部主将として迎えたことしの全日本学生スキー選手権大会会場は生まれ育った地元の田山スキー場だった。数え切れないほど飛んだジャンプ台での大会に「4年間で一番印象に残る大会になりました。もっとも内容の濃い大会で、ここでの1週間はあつという間に過ぎましたね」と感想を聞かせてくれた。大会では自身初の出場4種目全てで入賞を達成したが「得意にしているジャンプで失敗した複合ロスプリントは悔いが残りましたね」とその成績には満足していない様子だった。

永井さんは、2月に中国で開催される大学生のためのオリンピックと言われるユニバーシアード冬季大会に出場する。「日本代表の名に恥じない成績を目指したい。メダルを狙い、お世話になった地元の人たちやインカレの役員の人たちに恩返しをしたい」と意気込みを語ってくれた。学生としての最後の国際大会で、彼はどんな飛躍を見せてくれるのだろうか。